



## 電子メール アプリケーション内で Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするためのユーザ ガイド

リリース 10.x  
発行 : 2013 年 11 月

**Cisco Systems, Inc.**  
[www.cisco.com](http://www.cisco.com)

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。  
各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト  
([www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices)) をご覧ください。

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意**  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/))をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

電子メール アプリケーション内で *Cisco Unity Connection* ボイス メッセージにアクセスするためのユーザーガイド (リリース 10.x)  
© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



<b>ViewMail for Outlook について (バージョン 8.0 のみ)</b>	<b>1</b>
<b>ViewMail for Outlook での Media Master の操作 (バージョン 8.0 のみ)</b>	<b>3</b>
Media Master について (バージョン 8.0 のみ)	3
録音でのサウンド ファイルの使用 (バージョン 8.0 のみ)	4
Media Master での録音または再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)	4
再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生音量の変更 (バージョン 8.0 のみ)	5
再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生速度の変更 (バージョン 8.0 のみ)	5
Media Master のキーボード ショートカット (バージョン 8.0 のみ)	6
<b>ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)</b>	<b>7</b>
ボイス メッセージの送信 (バージョン 8.0 のみ)	7
メッセージのチェック (バージョン 8.0 のみ)	8
メッセージへの返信 (バージョン 8.0 のみ)	9
ボイス メッセージの転送 (バージョン 8.0 のみ)	9
削除されたメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)	10
<b>ViewMail for Outlook の設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)</b>	<b>11</b>
新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドの変更 (バージョン 8.0 のみ)	11
自動ボイス メッセージ再生設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)	12
送信されたボイス メッセージの保存設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)	12
録音デバイスおよび再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)	13
セキュア メッセージング設定の構成 (バージョン 8.0 のみ)	13
IMAP アカウント設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)	14
Cisco PCA パスワードと一致するように ViewMail for Outlook でパスワードを更新する (バージョン 8.0 のみ)	14
<b>電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージの管理</b>	<b>17</b>
電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの管理について	17

電子メール アプリケーションからのボイス メッセージの送信 17  
 電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの確認 18  
 電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの削除 18  
 Cisco PCA パスワードと一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新 18

**Cisco Unity Connection 10.x での HTML ベースのメッセージ通知の管理 19**

認証モードの設定 20  
 非認証モードの設定 20  
 HTML メッセージ通知内の画像を表示するように Microsoft Outlook を設定する 21  
 画像を自動的にダウンロードするように Microsoft Outlook を設定する 23  
 ボイス メッセージを添付ファイルとして送信するように Cisco Unity Connection を設定する 23  
 HTML 通知で添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズの設定 24  
 Cisco Unity Connection 10.x for Cisco Unity Connection Mini Web Inbox の設定 24  
     IBM Lotus Notes 用の Cisco Unity Connection Mini Web Inbox の設定 24  
     Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Internet Explorer 8 の設定 25  
     Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Windows Vista および Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット) の設定 25

**メールボックスのサイズの管理 27**

メールボックス サイズについて 27  
 メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由 27  
     メッセージ保存ポリシーが適用されていない 27  
     削除済みアイテムと Non Delivery Receipt (NDR) がメールボックスの合計サイズに含まれる 28  
     メッセージの転送時にメッセージの合計サイズに元のサイズが含まれる 28  
     メッセージの合計サイズに添付ファイルが含まれる 28  
 メールボックスのサイズの管理に関するヒント 28



# ViewMail for Outlook について (バージョン 8.0 のみ)

---



(注)

この内容は ViewMail for Outlook バージョン 8.0 にのみ適用されます。ViewMail の新しいバージョンの場合は、『*Quick Start Guide for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』 (リリース 8.5 以降) ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/vmo/quick\\_start/guide/85xcucqsgvmo.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html)) を参照してください。

---

Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook では、Outlook からボイス メッセージを送信したり、聞いたり、管理したりすることができます。ViewMail for Outlook フォームでは、Media Master のコントロールを使用してボイス メッセージを再生、録音します。

ViewMail for Outlook を使用して、ボイス メッセージを他のユーザ、Connection 以外のユーザ、およびパブリック同報リストに送信できます。

Outlook のプレビュー ペインでは、ViewMail は使用できません。ViewMail for Outlook を使用するにはメッセージを開く必要があります。

ViewMail for Outlook の設定を変更して次の操作を実行できます。

- 新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドを選択する。
- Outlook フォルダに送信されたボイス メッセージを保存するための設定を構成する。
- 自動再生を設定して、ボイス メッセージを開くとすぐにボイス メッセージの再生が開始されるようにする。

## ViewMail for Outlook のヘルプにアクセスするには

---

**ステップ 1** Outlook の [ヘルプ] メニューで、[ViewMail ヘルプ トピック] をクリックします。

**ステップ 2** 左側のペインに示されたトピック リンクをクリックします。

---





## ViewMail for Outlook での Media Master の操作 (バージョン 8.0 のみ)



(注)

この内容は ViewMail for Outlook バージョン 8.0 にのみ適用されます。ViewMail の新しいバージョンの場合は、『*Quick Start Guide for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』(リリース 8.5 以降) ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/vmo/quick\\_start/guide/85xcucqsgvmo.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html)) を参照してください。

- 「Media Master について (バージョン 8.0 のみ)」(P.3)
- 「録音でのサウンドファイルの使用 (バージョン 8.0 のみ)」(P.4)
- 「Media Master での録音または再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)」(P.4)
- 「再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生音量の変更 (バージョン 8.0 のみ)」(P.5)
- 「再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生速度の変更 (バージョン 8.0 のみ)」(P.5)
- 「Media Master のキーボードショートカット (バージョン 8.0 のみ)」(P.6)

## Media Master について (バージョン 8.0 のみ)

Media Master は、ViewMail for Outlook を使用して管理するメッセージに表示されます。メッセージを録音および再生するには、Media Master のコントロールをクリックします。

また、Media Master を使用して、ViewMail for Outlook での作業中に使用する録音と再生のデバイスを変更したり、メッセージの再生音量や再生速度を変更したりします。

Media Master 設定を更新すると、ユーザごとに各コンピュータに保存されます。また、別のコンピュータ (自宅のコンピュータなど) も使用して Media Master にアクセスする場合は、2 台目のコンピュータの Media Master 設定も更新する必要があります。

## 録音でのサウンド ファイルの使用 (バージョン 8.0 のみ)

[オプション] メニュー (Media Master の 1 つ目のボタン (下向き矢印)) で、録音に他のサウンド (WAV) ファイルを使用できます。次のサウンド ファイル オプションがあります。

<b>[新規]</b>	録音を消去して再録音します。
<b>[貼り付け]</b>	テキスト ファイルにテキストを貼り付けるのと同じ方法でクリップボードからサウンド録音を貼り付けます。
<b>[ファイルからのコピー]</b>	別のサウンド ファイルを録音に貼り付けます。
<b>[コピー]</b>	テキスト ファイルにテキストをコピーするのと同じ方法でクリップボードにサウンド録音をコピーします。
<b>[ファイルにコピー]</b>	名前を付けたサウンド ファイルに録音をコピーします。 メッセージにセキュアのマークが付いている場合、このオプションは使用できません。

## Media Master での録音または再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)

ViewMail for Outlook での作業中にメッセージの録音と再生に使用するデバイスを選択できます。

<b>[録音デバイス]</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話機 : Cisco Unity Connection から電話がかかってきたら、受話器またはスピーカーフォンのマイクに向かって話します。</li> <li>• コンピュータのマイク (使用可能な場合)。</li> </ul>
<b>[再生デバイス]</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話機 : Cisco Unity Connection から電話がかかってきたら、受話器またはスピーカーフォンのスピーカーから音声を聞きます。</li> <li>• コンピュータのスピーカー (使用可能な場合)。</li> </ul>



ヒント

録音の音質が最も良くなるのは、電話機を使用する場合です。

### Media Master で録音または再生デバイスを変更するには

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[オプション] メニュー (1 つ目のボタン、下向き矢印) の [再生デバイス] または [録音デバイス] をクリックし、一覧で使用するデバイスを選択します。
- ステップ 3** [電話] をデバイスとして選択した場合は、電話の情報が正しいか確認します。
  - a. [オプション] メニューの [オプション] をクリックします。
  - b. [Cisco Unity Connection サーバ オプション] ダイアログボックスの [Cisco Unity Connection サーバ名] ボックスに、Connection サーバの名前を入力します (サーバ名がわからない場合は、Connection 管理者に連絡してください)。
  - c. [ユーザ名] ボックスに、Connection ユーザ名を入力します。



- d. [パスワード] ボックスに、Cisco PCA パスワードを入力します。
- e. Outlook を起動するたびにパスワードを入力する必要があるように ViewMail for Outlook にパスワードを保存する場合は、[パスワードの保存] チェックボックスにチェックマークを付けます。
- f. 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバ アドレス] ボックスに、プロキシ サーバの IP アドレスを入力します。
- g. 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバ ポート] ボックスに、ポート サーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
- h. Connection 管理者から指定があった場合は、[HTTPS 証明書の検証] チェックボックスにチェックマークを付けます。それ以外の場合は、チェックボックスをオフのままにします。
- i. [内線番号] ボックスに内線番号を入力します。
- j. [OK] をクリックします。

**ステップ 4** [閉じる] をクリックしてメッセージを閉じます。

## 再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生音量の変更 (バージョン 8.0 のみ)

ここでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Outlook で再生されるすべてのメッセージの再生音量を変更する手順を説明します。

**コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合にメッセージ再生音量を変更するには**

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[音量] コントロール スライダをクリックしてドラッグし、音量を調整します。
- ステップ 3** [再生] をクリックしてメッセージを再生します。これで、コンピュータのスピーカーで聞く際のメッセージの音量設定が保存されます。
- ステップ 4** [閉じる] をクリックしてボイス メッセージを閉じます。

## 再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生速度の変更 (バージョン 8.0 のみ)

ここでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Outlook で再生されるすべてのメッセージの再生速度を変更する手順を説明します。

**コンピュータのスピーカーが再生デバイスである場合にメッセージ再生速度を変更するには**

- ステップ 1** ボイス メッセージが保存されている Outlook フォルダで、メッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master で、[スピード] コントロール スライダをクリックしてドラッグし、再生速度を調整します。

- ステップ 3** [再生] をクリックしてメッセージを再生します。これで、コンピュータのスピーカーで聞く際のメッセージの速度設定が保存されます。
- ステップ 4** [閉じる] をクリックしてボイス メッセージを閉じます。

## Media Master のキーボード ショートカット (バージョン 8.0 のみ)

表 1 に、ViewMail for Outlook で Media Master を使用するとき利用できるキーボード ショートカットを示します。

表 1 ViewMail での Media Master のキーボード ショートカット

キー	アクション
Alt+Shift+P	再生 / 一時停止
Alt+Shift+S	停止
Alt+Shift+R	録音 / 一時停止
Alt+Shift+M	[ オプション ] メニューを開く
Alt+Shift+F3	戻る
Alt+Shift+F4	進む
Alt+Shift+F7	音量を下げる
Alt+Shift+F8	音量を上げる
Alt+Shift+F11	再生速度を遅くする
Alt+Shift+F12	再生速度を速くする

キーボードを使用して、[オプション] メニューの項目を選択することもできます。[オプション] メニューで選択するオプションの下線の付いた文字を押します。



## ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)



(注)

この内容は ViewMail for Outlook バージョン 8.0 にのみ適用されます。ViewMail の新しいバージョンの場合は、『*Quick Start Guide for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』(リリース 8.5 以降) ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/vmo/quick\\_start/guide/85xcucqsgvmo.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html)) を参照してください。

- 「ボイス メッセージの送信 (バージョン 8.0 のみ)」(P.7)
- 「メッセージのチェック (バージョン 8.0 のみ)」(P.8)
- 「メッセージへの返信 (バージョン 8.0 のみ)」(P.9)
- 「ボイス メッセージの転送 (バージョン 8.0 のみ)」(P.9)
- 「削除されたメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)」(P.10)

## ボイス メッセージの送信 (バージョン 8.0 のみ)

Outlook からボイス メッセージを送信したり、メッセージに対する返信を録音したりできます。メッセージはユーザだけでなく、パブリック同報リストと電子メール アドレスに対して送信、返信、転送できます。

組織に複数のロケーションがある場合は、別のロケーションにいるユーザにメッセージを送信したり、メッセージに返信したりすることができます。詳細については、管理者に問い合わせてください。



(注)

Cisco Unity Connection メールボックスがそのサイズ クォータを超えると、メッセージを送信できなくなる場合があります (「[メールボックスのサイズの管理](#)」(P.27) を参照)。

### ボイス メッセージを送信するには

- ステップ 1** Outlook 受信ボックスの Outlook ツールバーで、[新しいボイスメッセージ] アイコンをクリックします。
- または
- [アクション] メニューの [新しいボイスメッセージ] をクリックします。

**ステップ 2** Connection のユーザ名または電子メール アドレスおよび件名を入力します。



(注) 電子メール アドレス宛のメッセージは、電子メール メッセージに添付されたサウンド (WAV) ファイルとして送信されます。

**ステップ 3** Media Master で、[録音] (円) をクリックし、メッセージを録音します。

**ステップ 4** 録音が終了したら、[停止] (四角) をクリックします。

**ステップ 5** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。

**ステップ 6** [送信] をクリックします。

## メッセージのチェック (バージョン 8.0 のみ)

Outlook でボイス メッセージと受信者を確認できます。ボイス メッセージと受信者は、電子メールとは異なる Outlook フォルダに表示されます。

新しいメッセージを一度開くと、削除するまでそのメッセージは保存されます。Connection がメッセージ保存ポリシーが適用されるように設定されているかどうか、およびそのように設定されている場合、メッセージが完全に削除されるまでメッセージが保存される期間を管理者に確認してください。Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されていても示されず、またポリシーの結果としてメッセージが完全に削除される前に警告は示されません。

[送信元] フィールドの情報は送信者を示します。このフィールドには Connection ユーザの名前が表示されます。また、Connection 以外のユーザが残したメッセージ、またはメッセージが残るまで Connection にログインしなかったユーザには、「Unity Connection メッセージシステム」と表示されます。[件名] フィールドには、発信者の電話番号 (使用可能な場合) が表示されます。

システムの設定方法に応じて、ボイス メッセージが含まれる Outlook フォルダには他の種類のメッセージ (ファクス メッセージなど) が示される場合があります。

### メッセージを確認するには

**ステップ 1** ボイス メッセージを含む Outlook フォルダで、メッセージをダブルクリックして開きます。



(注) Outlook のプレビュー ペインでは、メッセージは確認できません。

**ステップ 2** 開いているボイス メッセージで、Media Master の [再生] (右矢印) をクリックしてメッセージを再生します。

**ステップ 3** メッセージ内のメッセージ ツールバーのボタンを使用して、電子メール メッセージを処理するのと同じ方法でメッセージを管理します。



(注) 受信ボックス内のすべてのメッセージが既読状態である場合でも、Outlook の封筒アイコンは閉じたままです。

## メッセージへの返信（バージョン 8.0 のみ）

ここに示す手順を実行して、ボイス メッセージに返信するか、返信を録音して電子メール メッセージに返信します。送信者だけに返信することができます。また、受信者を追加することもできます。

「Unity Connection メッセージシステム」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザではないか、メッセージが残されたときにログインしていなかったことを示します。そのような発信者からのメッセージには返信できません。

### メッセージに返信するには

- 
- ステップ 1** 開いているボイス メッセージで、[返信] をクリックします。  
または  
開いている電子メール メッセージで、[アクション] メニューの [音声で返信] をクリックします。
  - ステップ 2** Media Master で、[録音] (円) をクリックします。
  - ステップ 3** 録音を終了したら、[停止] (四角) をクリックします。
  - ステップ 4** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
  - ステップ 5** [送信] をクリックします。
- 

## ボイス メッセージの転送（バージョン 8.0 のみ）

ここに示す手順を使用して、ボイス メッセージをそのまま転送するか、ボイス メッセージまたは電子メール メッセージを転送する前に再生するコメントを録音します。

### ボイス メッセージを転送するには

- 
- ステップ 1** 開いているボイス メッセージで、[転送] をクリックします。  
または  
開いている電子メール メッセージで、[アクション] メニューの [音声で転送] をクリックします。
  - ステップ 2** 受信者の名前を入力します。
  - ステップ 3** Media Master で、[録音] (円) をクリックし、コメントを録音します。
  - ステップ 4** 録音を終了したら、[停止] (四角) をクリックします。
  - ステップ 5** 必要に応じてテキストと添付ファイルを追加します。
  - ステップ 6** [送信] をクリックします。
-

## 削除されたメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)

ボイス メッセージが含まれている Outlook フォルダからメッセージを削除する手順は、電子メール メッセージを削除する手順と同じです。ただし、削除されたボイス メッセージは、灰色の取り消し線付きのテキストで表示されます。削除されたボイス メッセージは、Cisco Unity Connection で消去されるまでボイス メッセージ フォルダに保存されます。

Connection では、特定の時間が経過すると、削除されたメッセージを自動的に消去できます。完全に削除されるまでのメッセージの保存期間については管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。



### ヒント

ボイス メッセージを削除する前にアーカイブするには、Media Master のオプション メニューの [ファイルにコピー] オプションを使用します。

削除されたメッセージを手動で消去することもできます。

### 削除されたメッセージを手動で消去するには

ボイス メッセージを含む Outlook フォルダで、[編集] メニューの [削除済みメッセージの削除] をクリックします。



## ViewMail for Outlook の設定の変更（バージョン 8.0 のみ）



(注)

この内容は ViewMail for Outlook バージョン 8.0 にのみ適用されます。ViewMail の新しいバージョンの場合は、『*Quick Start Guide for Cisco ViewMail for Microsoft Outlook*』（リリース 8.5 以降）（[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/vmo/quick\\_start/guide/85xcucqsgvmo.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html)）を参照してください。

- 「新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドの変更（バージョン 8.0 のみ）」（P.11）
- 「自動ボイス メッセージ再生設定の変更（バージョン 8.0 のみ）」（P.12）
- 「送信されたボイス メッセージの保存設定の変更（バージョン 8.0 のみ）」（P.12）
- 「録音デバイスおよび再生デバイスの変更（バージョン 8.0 のみ）」（P.13）
- 「セキュア メッセージング設定の構成（バージョン 8.0 のみ）」（P.13）
- 「IMAP アカウント設定の変更（バージョン 8.0 のみ）」（P.14）
- 「Cisco PCA パスワードと一致するように ViewMail for Outlook でパスワードを更新する（バージョン 8.0 のみ）」（P.14）

## 新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドの変更（バージョン 8.0 のみ）

ボイス メッセージを含む Outlook フォルダに新しいメッセージが届いたことを通知するコンピュータ サウンドを選択できます。このオプションは、コンピュータにマルチメディア スピーカーが搭載されている場合に限り使用できます。

**新しいボイス メッセージがあることを通知するサウンドを変更するには**

- ステップ 1** Outlook の [ツール] メニューの [ViewMail オプション] をクリックします。
- ステップ 2** [ViewMail オプション] ダイアログボックスで、[通知] タブをクリックします。
- ステップ 3** 通知オプションを選択します。  
オプションのサウンドをプレビューするには、[スピーカー] アイコンをクリックします。
- ステップ 4** 適用可能な場合は、オプションのデフォルト サウンドを変更します。
  - a.** [参照] ボタンをクリックします。

- b. [ファイルの参照] ダイアログボックスで、サウンド (WAV) ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

**ステップ 5** [ViewMail オプション] ダイアログボックスがもう一度表示されたら、[OK] をクリックして変更を保存します。

---

## 自動ボイス メッセージ再生設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)

自動再生を使用すると、ボイス メッセージが含まれている Outlook フォルダでボイス メッセージを開くとすぐにメッセージの再生が開始されます。自動再生を使用しない場合は、Media Master でボイス メッセージを再生します。

### 自動ボイス メッセージ再生設定を変更するには

---

- ステップ 1** Outlook の [ツール] メニューの [ViewMail オプション] をクリックします。
  - ステップ 2** [一般] タブをクリックします。
  - ステップ 3** [ボイス メッセージの自動再生] チェックボックスにチェックマークを付けるか、外します。
  - ステップ 4** [OK] をクリックします。
- 

## 送信されたボイス メッセージの保存設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)

送信されたメッセージのコピーを送信済みアイテムのフォルダに保存するように Outlook を設定している場合、ViewMail for Outlook で送信した各ボイス メッセージのコピーも保存されます。メッセージの録音は保存せずに、メッセージ ヘッダーだけを保存するように ViewMail を設定すると、ハードディスク上の領域を節約できます (メッセージ ヘッダーには、メッセージの受信者、メッセージの送信日時、件名、重要度と機密性、およびサイズが含まれます)。

### ボイス メッセージのヘッダーだけを保存するには

---

- ステップ 1** Outlook の [ツール] メニューの [ViewMail オプション] をクリックします。
  - ステップ 2** [一般] タブをクリックします。
  - ステップ 3** [「送信済みアイテム」フォルダ内にメッセージヘッダのみ保存] チェックボックスをオンにします。
  - ステップ 4** [OK] をクリックします。
-



## 録音デバイスおよび再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)

### 録音デバイスと再生デバイスを変更するには

- 
- ステップ 1** Outlook の [ツール] メニューの [ViewMail オプション] をクリックします。
  - ステップ 2** [録音] または [再生] タブをクリックします。
  - ステップ 3** [デバイス] リストで、使用するデバイスを選択します。
  - ステップ 4** 再生デバイスまたは録音デバイスとして [電話] を選択しなかった場合は、[ステップ 13](#) に進みます。  
再生デバイスまたは録音デバイスに [電話] を選択した場合は、[サーバ] タブをクリックします。
  - ステップ 5** [Cisco Unity Connection サーバ名] ボックスに、Connection サーバの名前を入力します (サーバ名がわからない場合は、Connection 管理者に連絡してください)。
  - ステップ 6** [ユーザ名] ボックスに、Connection ユーザ名を入力します。
  - ステップ 7** [パスワード] ボックスに、Cisco PCA パスワードを入力します。
  - ステップ 8** Outlook を起動するたびにパスワードを入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを保存する場合は、[パスワードの保存] チェックボックスにチェックマークを付けます。
  - ステップ 9** 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバ アドレス] ボックスに、プロキシ サーバの IP アドレスを入力します。
  - ステップ 10** 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバ ポート] ボックスに、ポート サーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
  - ステップ 11** Connection 管理者から指定があった場合は、[HTTPS 証明書の検証] チェックボックスにチェックマークを付けます。それ以外の場合は、チェックボックスをオフのままにします。
  - ステップ 12** [内線番号] ボックスに内線番号を入力します。
  - ステップ 13** [OK] をクリックします。
- 

## セキュア メッセージング設定の構成 (バージョン 8.0 のみ)

メッセージにセキュアのマークが付くように Cisco Unity Connection が構成されている場合は、Connection サーバと安全に通信できるように Outlook を構成する必要があります。

### セキュア メッセージング設定を構成するには

- 
- ステップ 1** Outlook の [ツール] メニューの [ViewMail オプション] をクリックします。
  - ステップ 2** [サーバ] タブをクリックします。
  - ステップ 3** [Cisco Unity Connection サーバ名] ボックスに、Connection サーバの名前を入力します (サーバ名がわからない場合は、Connection 管理者に連絡してください)。
  - ステップ 4** [ユーザ名] ボックスに、Connection ユーザ名を入力します。
  - ステップ 5** [パスワード] ボックスに、Cisco PCA パスワードを入力します。

- ステップ 6** Outlook を起動するたびにパスワードを入力する必要がないように **ViewMail for Outlook** にパスワードを保存する場合は、[パスワードの保存] チェックボックスにチェックマークを付けます。
- ステップ 7** 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバアドレス] ボックスに、プロキシ サーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 8** 組織でプロキシ サーバを使用している場合は、[プロキシ サーバポート] ボックスに、ポート サーバへの接続時に **ViewMail for Outlook** で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
- ステップ 9** **Connection** 管理者から指定があった場合は、[HTTPS 証明書の検証] チェックボックスにチェックマークを付けます。それ以外の場合は、チェックボックスをオフのままにします。
- ステップ 10** [OK] をクリックします。

## IMAP アカウント設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)

Outlook で複数の IMAP アカウントを構成している場合は、Cisco Unity Connection と関連付けられているアカウントを識別する必要があります。

### IMAP アカウント設定を変更するには

- ステップ 1** Outlook の [ツール] メニューの [ViewMail オプション] をクリックします。
- ステップ 2** [アカウント] タブをクリックします。
- ステップ 3** [Cisco Unity Connection にアクセスするアカウントを選択] リストで、Connection へのアクセスに使用する IMAP アカウントを選択します。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。

## Cisco PCA パスワードと一致するように ViewMail for Outlook でパスワードを更新する (バージョン 8.0 のみ)

ViewMail for Outlook では Cisco Unity Connection ユーザ名と Cisco PCA パスワードを使用して Connection アカウントにアクセスし、ボイス メッセージを取得します。Messaging Assistant Web ツールで Cisco PCA パスワードを変更したときは、ViewMail でパスワードを更新する必要があります。これにより、ViewMail for Outlook で継続して Connection アカウントにアクセスできます。

ViewMail for Outlook でボイス メッセージの送受信に問題がある場合は、次のヒントを参考にしてください。

- Microsoft Outlook でパスワードの入力を要求されても、そのパスワードが受け入れられない場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail for Outlook でパスワードを更新してください。
- 電話を使用して ViewMail for Outlook でメッセージを再生または録音しようとしてエラーが表示される場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail でパスワードを更新してください。

- セキュア メッセージを再生または録音しようとしてエラーが表示される場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail for Outlook でパスワードを更新してください。

#### Cisco PCA パスワードと一致するように ViewMail for Outlook でパスワードを更新するには

---

- ステップ 1** Outlook の [ツール] メニューの [ViewMail オプション] をクリックします。
  - ステップ 2** [サーバ] タブをクリックします。
  - ステップ 3** [パスワード] ボックスに、Messaging Assistant で変更した新しい Cisco PCA パスワードを入力します。
  - ステップ 4** [OK] をクリックします。
  - ステップ 5** Outlook の [ツール] メニューで、[電子メール アカウント] をクリックします。
  - ステップ 6** [既存の電子メール アカウントの表示と変更] を選択し、[次へ] をクリックします。
  - ステップ 7** Cisco Unity Connection にアクセスするために使用される IMAP アカウントを選択し、[変更] をクリックします。
  - ステップ 8** [パスワード] ボックスに、Messaging Assistant で変更した新しい Cisco PCA パスワードを入力します。
  - ステップ 9** [次へ] をクリックし、[完了] をクリックします。
-





## 電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージの管理

- 「電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの管理について」 (P.17)
- 「電子メール アプリケーションからのボイス メッセージの送信」 (P.17)
- 「電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの確認」 (P.18)
- 「電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの削除」 (P.18)
- 「Cisco PCA パスワードと一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新」 (P.18)

### 電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの管理について

Cisco Unity Connection を使用すると、電子メール アプリケーションでボイス メッセージと受信確認にアクセスできます。

ボイス メッセージのロケーションは電子メール アプリケーションによって異なりますが、通常ボイス メッセージは電子メール アプリケーション内の個別のフォルダに保存されます。メッセージには、録音を含む WAV 添付ファイルが含まれます。ボイス メッセージを再生するには、添付ファイルを開きます。

システムの設定方法に応じて、ボイス メッセージが含まれるフォルダには他の種類のメッセージ (ファクス メッセージなど) が示される場合があります。

### 電子メール アプリケーションからのボイス メッセージの送信

電子メール アプリケーションでは、ボイス メッセージを録音したり、ボイス メッセージに返信したりすることはできません。

テキストでのみボイス メッセージに返信できます。ボイス メッセージは転送できますが、コメントを追加する場合は、コメントもテキストだけになります。

システムの設定方法によっては、Connection ユーザではない受信者への返信やそれらの受信者に転送したメッセージが配信されないことがあります。そのような場合は、Non Delivery Receipt (NDR) を受信します。



(注) Cisco Unity Connection メールボックスがそのサイズ クォータを超えると、メッセージを送信できなくなる場合があります（「メールボックスのサイズの管理」(P.27) を参照）。

## 電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの確認

通常、ボイス メッセージと開封確認は電子メール アプリケーションの個別のフォルダに表示されます。メッセージには、録音を含む WAV 添付ファイルが含まれます。ボイス メッセージを再生するには、添付ファイルを開きます。

電子メール アプリケーションで、新しい電子メール メッセージが届いたことを通知するのと同じように新しいボイス メッセージが届いたことを通知できます。

メッセージの [送信元] フィールドには、Connection ユーザの名前か、「Unity Connection メッセージングシステム」が表示されます。「Unity Connection メッセージングシステム」は、Connection 以外のユーザ、またはメッセージを残す前にログインしていなかったユーザによってメッセージが残されていることを示します。[件名] フィールドには、発信者の電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

## 電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの削除

ボイス メッセージは、電子メール メッセージと同じ方法で電子メール アプリケーションから削除できます。システムの設定方法によっては、電子メール アプリケーションで削除されたメッセージを取得してメッセージを聞いたり、削除されたメッセージをフォルダに復元したり、メッセージを完全に削除したりすることもできます。

一部の電子メール アプリケーションでは、削除されたメッセージ フォルダを定期的に消去して、ボイス メッセージを完全に削除する必要がある場合があります。電子メール アプリケーションでこの手順が必要かどうかについては、Connection 管理者に問い合わせてください。

## Cisco PCA パスワードと一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新

電子メール アプリケーションでは、Connection ユーザ名と Cisco PCA パスワードを使用して、Connection アカウントにアクセスし、ボイス メッセージを取得します。Messaging Assistant Web ツールで Cisco PCA パスワードを変更した場合は、電子メール アプリケーションでパスワードを更新する必要があります。これにより、電子メール アプリケーションで継続して Connection アカウントにアクセスできます。

電子メール アプリケーションでパスワードの入力を要求されても、そのパスワードが受け入れられない場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Messaging Assistant で Cisco PCA パスワードを変更してから、電子メール アプリケーションでパスワードを更新してください。

各電子メール アプリケーションでのパスワードの更新の詳細については、Connection 管理者に問い合わせてください。



## Cisco Unity Connection 10.x での HTML ベースのメッセージ通知の管理

Cisco Unity Connection は、SMTP ベースのメッセージ通知を HTML 形式で電子メールアドレスに送信するように設定できます。Unity Connection のすべての SMTP ベースのテンプレートには、HTML ベースの通知テンプレートが必要です。管理者は、HTML ベースのテンプレートを選択して適用し、デバイス用の HTML 通知を使用できるようにします。選択可能なテンプレートは、デフォルトのテンプレートまたは管理者が作成したカスタム テンプレートです。

テンプレートの作成方法の詳細については『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection Release 10.x*』の「Adding, Modifying, or Deleting a Notification Template in Cisco Unity Connection 10.x」の章の「[Adding a Notification Template in Cisco Unity Connection 10.x](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/user_mac/guide/10xcucmacx.html)」セクション ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/user\\_mac/guide/10xcucmacx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/user_mac/guide/10xcucmacx.html)) を参照してください。

管理者によって定義されたテンプレートごとに HTML 通知を取得するには、ユーザの電子メールクライアントが画像とアイコンの表示をサポートしている必要があります。詳細については、電子メールサービスプロバイダーのドキュメントを参照してください

HTML 通知は、次の電子メールクライアントでサポートされます。

- Microsoft Outlook 2007
- Microsoft Outlook 2010
- Microsoft Outlook 2013
- IBM Lotus Notes
- Gmail (Web ベースのアクセスのみ)

管理者は、必要に応じて認証モードまたは非認証モードを選択します。さらに、Unity Connection Mini Web Inbox を使用してボイス メッセージにアクセスするために、署名済み SSL 証明書がインストールされていることを確認してください。「[Securing Cisco Unity Connection Administration, Cisco PCA, and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection 10.x](#)」セクションを参照してください。

Cisco Unity Connection での SSL の設定方法については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 10.x*』の「[Securing Cisco Unity Connection Administration, Cisco PCA, and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection 10.x](#)」の章 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/administration/guide/10xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/administration/guide/10xcucsagx.html)) を参照してください。

次のセクションを参照してください。

- 「[認証モードの設定](#)」 (P.20)
- 「[非認証モードの設定](#)」 (P.20)
- 「[HTML メッセージ通知内の画像を表示するように Microsoft Outlook を設定する](#)」 (P.21)

- 「画像を自動的にダウンロードするように Microsoft Outlook を設定する」 (P.23)
- 「ボイス メッセージを添付ファイルとして送信するように Cisco Unity Connection を設定する」 (P.23)
- 「HTML 通知で添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズの設定」 (P.24)
- 「Cisco Unity Connection 10.x for Cisco Unity Connection Mini Web Inbox の設定」 (P.24)

## 認証モードの設定

認証モードを使用すると、Cisco Unity Connection クレデンシヤルを使用して SMTP ベースの HTML 通知に埋め込み画像やアイコンを表示できます。クレデンシヤルが認証された後に画像が表示されま

す。

設定されているモードを確認するには、システム管理者にお問い合わせください。

デフォルトのシステム設定は認証モードです。管理者は、Cisco Unity Connection Administration を使用して認証モードを設定できます。

**認証モードを設定するには、次の手順を実行します。**

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[システム設定] > [全般設定] を選択します。
- ステップ 2** [全般設定の編集] ページで、[HTML 通知用グラフィックの認証] オプションを選択し、認証モードをオンにします。
- ステップ 3** [保存] をクリックします。
- 



(注)

- Unity Connection クレデンシヤルは、Outlook の各セッションでのみ必要です。
  - ユーザが、[キャンセル] ボタンをクリックし、最初に要求されたときに、Unity Connection クレデンシヤルを入力しなかった場合、電子メール通知に画像は表示されません。Unity Connection のクレデンシヤルを入力し、画像を表示するには、Outlook を再起動する必要があります。
  - 誤ったパスワードを連続で 3 回入力すると、Unity Connection は二度とプロンプトを表示しなくなるため、Outlook を再起動する必要があります。
- 

## 非認証モードの設定

非認証モードでは、ユーザにクレデンシヤルを要求するプロンプトは表示されず、埋め込み画像やアイコンはそのまま電子メール通知内に表示されます。設定されているモードをシステム管理者に確認してください。



# HTML メッセージ通知内の画像を表示するように Microsoft Outlook を設定する

認証モードでは、すべてのカスタム グラフィックまたは管理者が置き換え可能な画像を HTML ベースのテンプレートごとに表示するには、Outlook クライアントにすべての必要な修正プログラムとレジストリ エントリがあることを確認する必要があります。

非認証モードが設定されている場合、Outlook クライアントに修正またはレジストリ エントリは必要ありません。



**注意**

管理者によって選択されたモード（認証モードまたは非認証モード）に関係なくユーザのワークステーションに SSL 証明書がインストールされている必要があります。

Cisco Unity Connection での SSL の設定方法については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 10.x*』の「[Securing Cisco Unity Connection Administration, Cisco PCA, and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection 10.x](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/administration/guide/10xcucsagx.html)」の章 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/administration/guide/10xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/administration/guide/10xcucsagx.html)) を参照してください。

Internet Explorer バージョン 8 を使用している場合は、「Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Internet Explorer 8 の設定」セクションの設定を参照してください。



**(注)**

特定のセキュリティ上の理由のために、必要な修正プログラムのインストールやレジストリ エントリの更新が許可されない場合は、画像、MWI ステータス、メッセージ ステータスが含まれないテンプレートを作成することができます。

表 1

Microsoft Outlook のバージョン	Microsoft Outlook 2007	Microsoft Outlook 2010
Windows XP SP3、Windows 7 (32 および 64 ビット)、Windows Vista (32 および 64 ビット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Outlook 2007                             <ul style="list-style-type: none"> <li>– AllowImageProxyAuth のレジストリ エントリ、値 = 1。</li> <li>– 2007 Office suite SP2 をインストールします。2007 Office suite SP2 のインストールについては、<a href="http://support.microsoft.com/kb/953195">http://support.microsoft.com/kb/953195</a> を参照してください。次に、Outlook 2007 修正プログラム パッケージをインストールします。修正プログラムのインストールについては、<a href="http://support.microsoft.com/kb/2596993">http://support.microsoft.com/kb/2596993</a> を参照してください。または</li> <li>– 2007 Office suite SP3 をインストールします。2007 Office suite SP3 のインストールについては、<a href="http://support.microsoft.com/kb/2526086">http://support.microsoft.com/kb/2526086</a> を参照してください。</li> </ul> </li> <li>• Outlook 2007 SP2                             <ul style="list-style-type: none"> <li>– Outlook 2007 修正プログラム パッケージをインストールします。修正プログラムのインストールについては、<a href="http://support.microsoft.com/kb/2596993">http://support.microsoft.com/kb/2596993</a> を参照してください。</li> <li>– AllowImageProxyAuth のレジストリ エントリ、値 = 1。</li> </ul> </li> <li>• Outlook 2007 SP3                             <ul style="list-style-type: none"> <li>– AllowImageProxyAuth のレジストリ エントリ、値 = 1。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Outlook 2010 修正プログラム パッケージをインストールします。詳細については、<a href="http://support.microsoft.com/kb/2459116">http://support.microsoft.com/kb/2459116</a> を参照してください。</li> <li>• AllowImageProxyAuth のレジストリ エントリ、値 = 1。</li> </ul>

Microsoft Outlook のレジストリ エントリを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [スタート]> [ファイル名を指定して実行] に移動します。regedit と入力して、Enter を押します。
- ステップ 2** 次の Microsoft Outlook 2007 のパスを参照します。  
HKEY\_CURRENT\_USER\Software\Microsoft\Office\12.0\Common
- ステップ 3** 次の Microsoft Outlook 2010 のパスを参照します。

HKEY\_CURRENT\_USER\Software\Microsoft\Office\14.0\Common

**ステップ 4** 「AllowImageProxyAuth = 1」を新しい DWORD 値として追加します。

## 画像を自動的にダウンロードするように Microsoft Outlook を設定する

必要な修正プログラムおよびレジストリ エントリを使用して Microsoft Outlook を更新した後も、テンプレートで指定されている場合は、画像を右クリックして [表示] を選択する必要があります。メッセージ ウィンドウの上に表示されるプロンプトを右クリックして画像を表示することもできます。

セッションのたびにこれらの手順を実行しなくとも画像が自動的にダウンロードされるようにするには、Outlook 電子メール クライアントの [ツール] > [セキュリティ センター] > [自動ダウンロード] セクションで必要なオプションを選択する必要があります。

## ボイス メッセージを添付ファイルとして送信するように Cisco Unity Connection を設定する

Cisco Unity Connection 10.0(1) リリース以降、管理者が接続を設定し、ボイス メッセージを HTML 通知の添付ファイルとしてユーザに送信できるようになりました。さらに、HTML 通知電子メールの Connection Mini Web Inbox にアクセスするためのリンクを使用して、ユーザは、.wav 形式のボイス メール添付ファイルにアクセスし、任意のプレーヤーを使用して PC または携帯電話で再生できます。

Unity Connection 10.0 (1) よりも前のバージョンでは、エンドユーザは HTML 通知内で、Unity Connection Mini Web Inbox にアクセスするためのリンクのみを受信し、Mini Web Inbox のみを使用してボイス メッセージを聞きました。



**(注)** 転送されたメッセージの場合、最新のボイス メッセージの添付ファイルのみが送信されます。

ユーザが、携帯電話を使用してボイス メッセージの添付ファイルにアクセスする場合、以下のモバイル クライアントがサポートされます。

- サポートされるバージョンの iPhone 4 および 4s
- サポートされるバージョンの Android



**(注)** セキュアおよびプライベートのボイス メッセージを添付ファイルとして送信することはできません。

デフォルトでは、システムはボイス メッセージを添付ファイルとして送信しないように設定されます。管理者は、Cisco Unity Connection Administration を使用して添付ファイルとしてボイス メッセージを送信するように設定できます。

**ボイス メッセージを添付ファイルとして送信するように Unity Connection を設定するには**

**ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[詳細設定] > [メッセージング] を選択します。

**ステップ 2** [メッセージングの設定] ページで、[HTML 通知へのボイスメールの添付を許可する] オプションを選択し、ボイス メッセージを添付ファイルとして送信します。

[保存] をクリックします。

## HTML 通知で添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズの設定

管理者は、HTML 通知で添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズを設定することができます。ユーザは、.wav 形式でボイス メッセージの添付ファイルにアクセスし、PC または携帯電話の任意のプレーヤーを使用して再生できます。

デフォルトでは、システムが添付ファイルとして送信できるボイス メッセージの最大サイズは 2,048 KB に設定されます。最大サイズは 12,288 KB まで設定できます。管理者は、Cisco Unity Connection Administration を使用してボイス メッセージのサイズを設定できます。

### 添付ファイルとして送信するボイス メッセージのサイズを設定するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[詳細設定]>[メッセージング] を選択します。
- ステップ 2** [メッセージングの設定] ページで、[HTML 通知に添付するボイスメールの最大サイズ(KB)] テキストボックスにボイス メッセージのサイズを入力します。
- ステップ 3** [保存] をクリックします。変更を有効にするには、Connection Notifier サービスを再起動してください。

## Cisco Unity Connection 10.x for Cisco Unity Connection Mini Web Inbox の設定

次のセクションを参照してください。

- 「IBM Lotus Notes 用の Cisco Unity Connection Mini Web Inbox の設定」(P.24)
- 「Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Internet Explorer 8 の設定」(P.25)
- 「Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Windows Vista および Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット) の設定」(P.25)

## IBM Lotus Notes 用の Cisco Unity Connection Mini Web Inbox の設定

Cisco Unity Connection Mini Inbox は、IBM Lotus Notes でデフォルトでサポートされるブラウザをサポートしません。ユーザが自分の IBM Lotus Notes 電子メール クライアントでメッセージを受信し、通知内のリンクをクリックして Connection Mini Inbox を開くときには、Connection Mini Web Inbox がデフォルトのオペレーティング システムのブラウザで開かれる必要があります。

### Lotus Notes 電子メール クライアントで Web ブラウザをオペレーティング システムのデフォルトのブラウザとして構成するには

- ステップ 1** Lotus Notes クライアントで、[ファイル]>[設定]>[Web ブラウザ] を選択します。
- ステップ 2** [このオペレーティング システムのデフォルトとして設定しているブラウザを使用する] オプションを選択します。

**ステップ 3** [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

## Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Internet Explorer 8 の設定

### Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Internet Explorer 8 を設定するには

- ステップ 1** ブラウザ ウィンドウで、[ツール]>[イントラネット オプション] に移動し、[セキュリティ] タブを選択します。
- ステップ 2** [ローカル イントラネット] オプションを選択し、[サイト] をクリックします
- ステップ 3** すべてのチェック ボックスをオフにし、[OK] をクリックします。
- ステップ 4** [信頼できるサイト] オプションを選択し、[サイト] をクリックします。
- ステップ 5** 接続に使用する Web サイト（たとえば、<https://ucbu-cisco-vmxyz.cisco.com>）を追加します。
- ステップ 6** [閉じる] をクリックし、[OK] をクリックします。

## Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Windows Vista および Windows 7（32 ビットおよび 64 ビット）の設定

### Cisco Unity Connection Mini Web Inbox 用の Windows Vista および Windows 7（32 ビットおよび 64 ビット）を設定するには

- ステップ 1** [スタート]>[コントロール パネル]>[Flash Player] を選択します。
- ステップ 2** Flash Player 設定マネージャーのウィンドウで、[カメラとマイク] タブを選択します。
- ステップ 3** [次の場合に選択したサイトでカメラまたはマイクを使用] をクリックします。
- ステップ 4** [次の場合に選択したサイトでカメラまたはマイクを使用] ウィンドウで、[カメラまたはマイクをサイトで使用する場合に確認] オプションを選択します。
- ステップ 5** 次に、[追加] をクリックします。
- ステップ 6** Unity Connection で使用する Web サイト（たとえば、[ucbu-cisco-vmxyz.cisco.com](https://ucbu-cisco-vmxyz.cisco.com)）を追加します。
- ステップ 7** [許可] をクリックし、[閉じる] をクリックします。





## メールボックスのサイズの管理

---

- 「メールボックス サイズについて」 (P.27)
- 「メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由」 (P.27)
- 「メールボックスのサイズの管理に関するヒント」 (P.28)

### メールボックス サイズについて

メールボックスが一杯になると、Cisco Unity Connection でメッセージを処理する速度に影響を与える可能性があります。電話でログインした場合、メールボックスが次の状態のときに Connection から通知されます。

- 間もなく一杯になる場合
- 一杯になり、新しいメッセージを送信できない場合
- 一杯になり、新しいメッセージを送受信できない場合

Connection 管理者が、メールボックスの保存の限度を設定します。これらの限度を超えると、メッセージの送受信ができなくなる場合があります。



(注)

---

システム ブロードキャスト メッセージは、メールボックスの合計サイズに含まれません。

---

### メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由

Cisco Unity Connection メールボックスが予想よりもすぐに一杯になる場合は、次のような理由が考えられます (Connection 管理者がメールボックスのサイズを指定します)。

### メッセージ保存ポリシーが適用されていない

Connection 管理者がシステムにメッセージ保存ポリシーを適用していない場合は、保存されたメッセージを定期的に確認し、それらを移動、アーカイブまたは完全に削除してメールボックスのサイズを管理する必要があります。

Connection がメッセージ保存ポリシーが適用されるように設定されている場合は、メッセージが完全に削除されるまでメッセージが保存される期間を Connection 管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されていても示されず、またポリシーの結果としてメッセージが完全に削除される前に警告は示されません。

## 削除済みアイテムと Non Delivery Receipt (NDR) がメールボックスの合計サイズに含まれる

削除されたメッセージはボイス メッセージ フォルダに残り、Connection で消去されるまで、または手動で消去するまでは、メールボックスの合計サイズに含まれます。完全に削除されるまでのメッセージの保存期間については管理者に確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。

また、送信したメッセージについて Non Delivery Receipt (NDR) を受信した場合、特に元のメッセージに大きい添付ファイルが含まれている場合は、メールボックスのサイズがすぐに増える可能性があります。

## メッセージの転送時にメッセージの合計サイズに元のサイズが含まれる

何度も繰り返し転送されて、サイズが増えたメッセージを受信する場合があります。元のメッセージに、転送中に追加されたすべての録音済みコメントを加えたサイズが、メッセージの合計サイズになります。そのため、保存されているメッセージの数が比較的少ない場合でも、メールボックスが制限を超える可能性があります。

## メッセージの合計サイズに添付ファイルが含まれる

スプレッドシート、ドキュメント、ファクス、画像などの添付ファイルが含まれているメッセージを受信する場合があります。この場合、メッセージにすべての添付ファイルを加えたサイズがメッセージの合計サイズになります。そのため、保存されているメッセージの数が比較的少ない場合でも、メールボックスが制限を超える可能性があります。

## メールボックスのサイズの管理に関するヒント

次に示すヒントは、メールボックスの領域を確保するのに役立ちます。

- メッセージを削除する。
- 削除されたメッセージをボイス メッセージ フォルダから手動で消去する。
- ボイス メッセージをハード ディスク上のフォルダに移動した後に、それらのメッセージを電子メール アプリケーションから削除する（この機能はシステムによっては使用できない場合があります。この機能が使用できるかどうかについては、Connection 管理者に問い合わせてください）。





---

## C

### Cisco PCA

一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新 [18](#)

パスワードの更新

一致させるための ViewMail for Outlook での [14](#)

Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook。「ViewMail for Outlook」を参照

---

## I

IMAP アカウント設定、ViewMail for Outlook での変更 [14](#)

---

## M

### Media Master

#### ViewMail for Outlook

概要 [3](#)

キーボードショートカット [6](#)

すべてのメッセージのスピーカー再生音量の変更 [5](#)

すべてのメッセージのスピーカー再生速度の変更 [5](#)

録音でのサウンド ファイルの使用 [4](#)

録音デバイスと再生デバイスの変更 [4](#)

---

## N

Non Delivery Receipt、メールボックス サイズへの影響 [28](#)

---

## U

Unity Connection メッセージシステム、ボイス メッセージ

ViewMail for Outlook [8](#)

---

## V

### ViewMail for Outlook

Cisco PCA パスワードと一致させるためのパスワードの更新 [14](#)

IMAP アカウント設定の変更 [14](#)

新しいボイス メッセージを通知するサウンドの変更 [11](#)

概要 [1](#)

削除されたメッセージの管理 [10](#)

削除されたメッセージの手動による消去 [10](#)

自動ボイス メッセージ再生設定の変更 [12](#)

セキュア メッセージング設定の構成 [13](#)

送信されたボイス メッセージの保存設定の変更 [12](#)

ヘルプ、アクセス [1](#)

ボイス メッセージの送信 [7](#)

メッセージに対する返信 [9](#)

メッセージの転送 [9](#)

録音デバイスと再生デバイスの変更 [13](#)

---

## い

一杯のメールボックス

通知 [27](#)

理由 [27](#)

## お

音量、すべてのメッセージのスピーカー再生の変更

Media Master (ViewMail for Outlook) **5**

## か

確認

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージ **18**

管理

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージ、概要 **17**

メールボックス サイズ **28**

## き

キーボード ショートカット、Media Master

ViewMail for Outlook **6**

## こ

更新

Cisco PCA パスワードと一致させる電子メール アプリケーションのパスワード **18**

パスワード

Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Outlook での **14**

構成、セキュア メッセージング設定

ViewMail for Outlook **13**

## さ

再生デバイス、変更

Media Master (ViewMail for Outlook) **4**

ViewMail for Outlook **13**

サウンド、新しいボイス メッセージを通知、ViewMail for Outlook での変更 **11**

サウンド ファイル、録音での使用

ViewMail for Outlook **4**

削除

ViewMail for Outlook での削除されたメッセージの手動消去 **10**

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージ **18**

メッセージ

ViewMail for Outlook での **10**

削除されたメッセージ、ViewMail for Outlook での手動消去 **10**

削除済みアイテム、メールボックス サイズへの影響 **28**

## し

自動ボイス メッセージ再生設定、ViewMail for Outlook での変更 **12**

受信確認、電子メール アプリケーション **18**

ショートカット、Media Master のキーボード

ViewMail for Outlook **6**

## せ

セキュア メッセージング設定、構成

ViewMail for Outlook **13**

## そ

送信されたボイス メッセージ、ViewMail for Outlook での保存設定の変更 **12**

送信、ボイス メッセージの

ViewMail for Outlook での **7**

電子メール アプリケーションから **17**

速度、すべてのメッセージのスピーカー再生の変更、Media Master (ViewMail for Outlook) **5**

## て

電子メール アプリケーション

Cisco PCA パスワードと一致させるためのパスワードの更新 **18**

ボイス メッセージの確認 **18**

ボイス メッセージの管理について **17**

ボイス メッセージの削除 **18**

ボイス メッセージの送信 **17**

ボイス メッセージの転送 **17**

## 転送

電子メール アプリケーションからのボイス メッセージ **17**

メッセージ

ViewMail for Outlook での **9**

転送されたメッセージ、メールボックス サイズへの影響 **28**

添付ファイル、メールボックス サイズへの影響 **28**

## は

パスワード、更新

Cisco PCA と一致させるための ViewMail for Outlook での **14**

Cisco PCA と一致させる電子メール アプリケーション **18**

## へ

変更

Cisco PCA パスワードと一致させる電子メール アプリケーションのパスワード **18**

IMAP アカウント設定、ViewMail for Outlook **14**

ViewMail for Outlook の録音デバイスと再生デバイス **13**

新しいボイス メッセージを通知するサウンド、ViewMail for Outlook **11**

再生デバイス

Media Master (ViewMail for Outlook) **4**

自動ボイス メッセージ再生設定、ViewMail for Outlook **12**

すべてのメッセージのスピーカー再生音量

Media Master (ViewMail for Outlook) **5**

すべてのメッセージのスピーカー再生速度、Media Master (ViewMail for Outlook) **5**

送信されたボイス メッセージの保存設定、ViewMail for Outlook **12**

パスワード

Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Outlook での **14**

録音デバイス

Media Master (ViewMail for Outlook) **4**

返信、メッセージ

ViewMail for Outlook での **9**

## ほ

ボイス メッセージ

Unity Connection メッセージシステムから

ViewMail for Outlook **8**

送信

ViewMail for Outlook での **7**

電子メール アプリケーションから **17**

電子メール アプリケーションからの転送 **17**

電子メール アプリケーションでの確認 **18**

電子メール アプリケーションでの管理について **17**

電子メール アプリケーションでの削除 **18**

「メッセージ」も参照

## め

メールボックス

一杯になる理由 **27**

一杯の通知 **27**

サイズの管理 **28**

メールボックス サイズを管理するためのヒント **28**

メッセージ

「ボイス メッセージ」も参照

メッセージ

削除

ViewMail for Outlook での **10**

転送

ViewMail for Outlook での **9**

返信

ViewMail for Outlook での **9**

メッセージ保持ポリシー、メールボックス サイズへの影響 **27**

---

## ろ

録音、サウンド ファイルの使用

ViewMail for Outlook [4](#)

録音デバイス、変更

Media Master (ViewMail for Outlook) [4](#)

ViewMail for Outlook [13](#)

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>